

閉会中の調査報告

福祉教育常任委員会

開催日時 平成 31 年 2 月 5 日（火） 午前 9 時 25 分～11 時 55 分
出席者 立入委員長、藤川副委員長、森委員、加藤委員、細川委員、奥村委員、松原議長
説明員 健康福祉部長、子ども家庭局長、子ども家庭局次長、子ども政策課長、子ども政策課長補佐
案件 所管事務調査

公共施設の今後のあり方について

・三雲児童館

市は、三雲児童館の今後のあり方について、複合化を検討、2020 年を期間としています。
当委員会は閉会中の審査を開催し、三雲児童館への現地調査と協議を行いました。

○現地調査

当日は三雲児童館が休館日であり、事前に資料（三雲児童館の利用状況、事業実施報告、三雲児童館運営委員会規則）を委員に配付。

子ども政策課より、昭和 56 年に建設され非耐震であることなどの説明を受けました。

子ども政策課からの報告

三雲児童館の今後のあり方について、関係機関とも協議して進めたいと報告を受ける。

○委員会での質疑（現地調査のあと委員会を開催。）

- ・三雲児童館運営委員会や地元の人を聴いているのか、地元では建物を残してほしいとの声が多く、どのように考えているのか。
- ・三雲児童館が交流センターなどに複合されることで、使用目的が達成できるのか。
- ・三雲児童館の遊戯室に対する代替えはどうなるのか。
- ・今日まで三雲児童館を使って時間を過ごしていた子どもたちが、無くなったときに代替え施設だけでなく慎重に対処すべき。
- ・執行部だけの提案なので、地域としっかり話し合いながら対処したい。



「湖南省保育サービス向上のための民間活力活用の基本計画」について

湖南省保育園等移管先法人募集要項について説明を受ける。

募集日程：2月4日（日）から2月15日（金）まで、面接は3月9日（土）と10日（日）【予備日】とする。

事前の事業者説明会は12月中旬に開催。参加は市内の民間保育園の5法人、学校法人が1法人と社会福祉法人が4法人と市外から2法人（社会福祉法人と株式会社）が参加。

委員からの質問

- ・各施設の耐震調査は住んでいるのか。
- ・耐震基準をクリアするための園舎建替えについてはどうなるのか。

質疑終了後、三雲児童館複合問題、保育園の民間活用について自由討議を行ないました。